



KOTOBA

No snowflakes fall in the same spot.

一般社団法人ことば

法人概要資料

お問い合わせは以下にお願い致します。

名称	: 一般社団法人ことば
東京事務局	: 〒111-0034 東京都台東区東区雷門2-13-1KAMINARI2F
MAIL	: s.sato@kotoba.life
担当者	: 代表理事 佐藤シュンスケ

① 「子」と「場」

② 「個」と「場」

③ 「言葉」

VISION

自分の人生を1からデザインする楽しさで溢れる社会



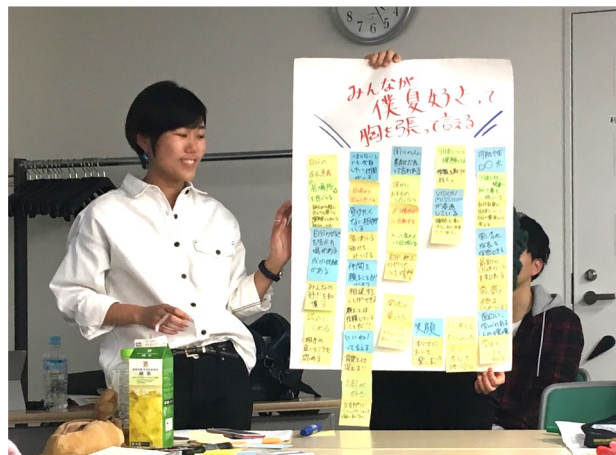
バブル崩壊、消えた年金、東日本大震災、と私たちを取り巻く環境は大きく変わりました。

世の中は不で溢れ、それは進路選択をはじめとする子ども・若者の「生き方」選びにも大きな影響を与えました。どうしたら稼げるか、肯定されるかという「他者軸」ではなく、自分がどうしたいのか、どのような人として生きていきたいのかを考え、「自分軸」を持って選び挑戦することが大切です。

一般社団法人ことばでは、日本中の子ども・若者が『自分の人生を肯定』し笑い合っている景色が理想の社会です。

MISSION

子ども・若者に『自分の想いに気づき、伝え、実践する場』を提供する



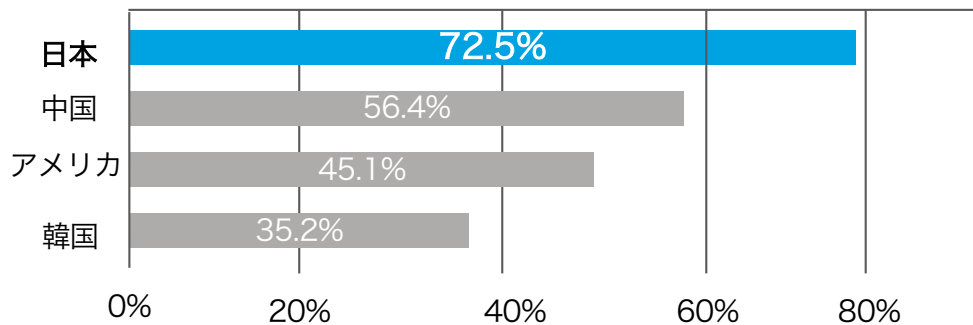
インターネットの普及により自分で考え仮説を検証する前に他の人の意見や正解に触れる機会が増えてしまいました。

自分の心と対話する時間も減ってしまい自分の考えを「言葉」にして、他者と語り合うことで考えを深め、整理する機会がすくなくなりました。

そんな若者を対象に 私たちは人との交流や対話を通して原体験を振り返り、「個」を考え「言葉」にし実践できる場を提供することが使命です。

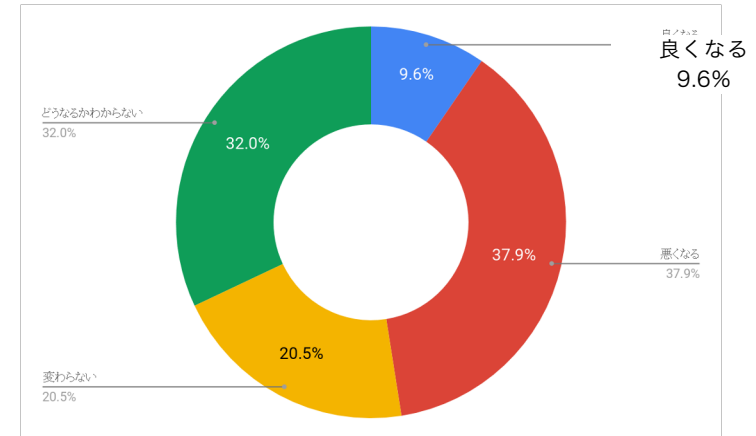
取り組む社会課題

▼現在：自分はダメだと思ふことがある



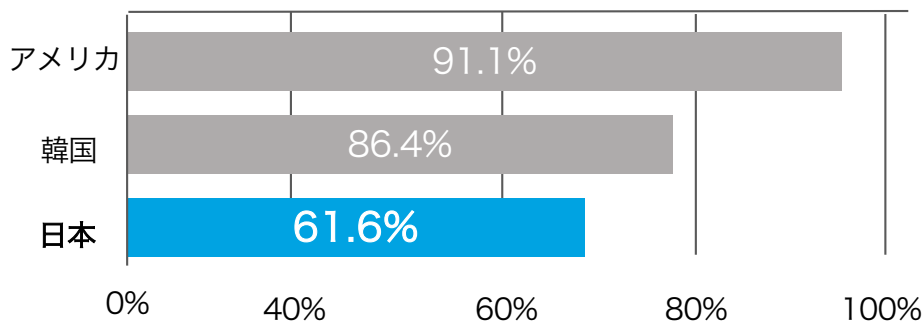
出典：平成27年 高校生の生活と意識に関する調査報告書

▼社会：日本がよくなると思う



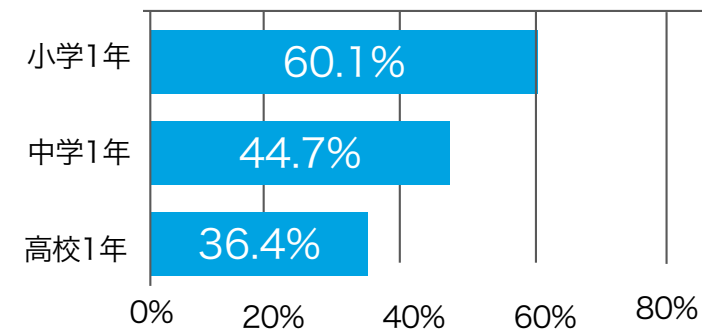
出典：2019年 日本財団「第20回社会や国に対する意識調査」

▼未来：将来に希望を持っている



出典：平成26年版子ども・若者白書

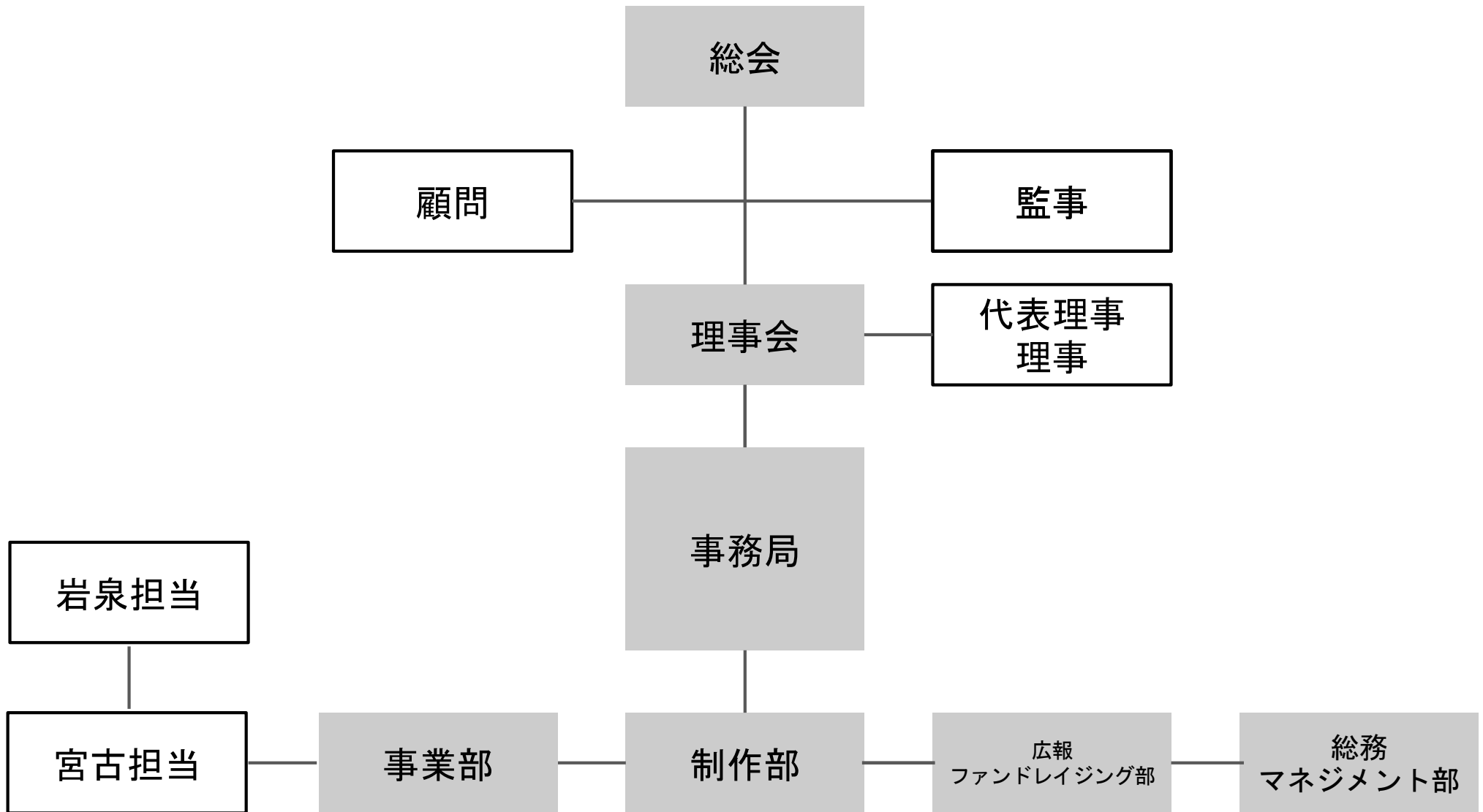
▼自信を持っている比率が下がる



出典：2015年~2017年
東京大学社会科学研究所×ベネッセ教育総合研究所

組織について

2023年度 組織体制



理事



佐藤シュンスケ
株式会社フウテン
代表取締役



大浦佐和
株式会社Oriai
ディレクター



瀧澤純希
合同会社COYOTE
代表社員



谷田川雅基
地域おこし協力隊



安藤智洋
株式会社ウイステリアコンシェル
CEO | 公認会計士



渡邊賢
弁護士

監事



土橋優平
NPO法人キーデザイン
代表理事

顧問



巖岩千裕
岩泉町教育長

分野

ソーシャルビジネス

起業/地域活性

編集/デザイン

飲食店

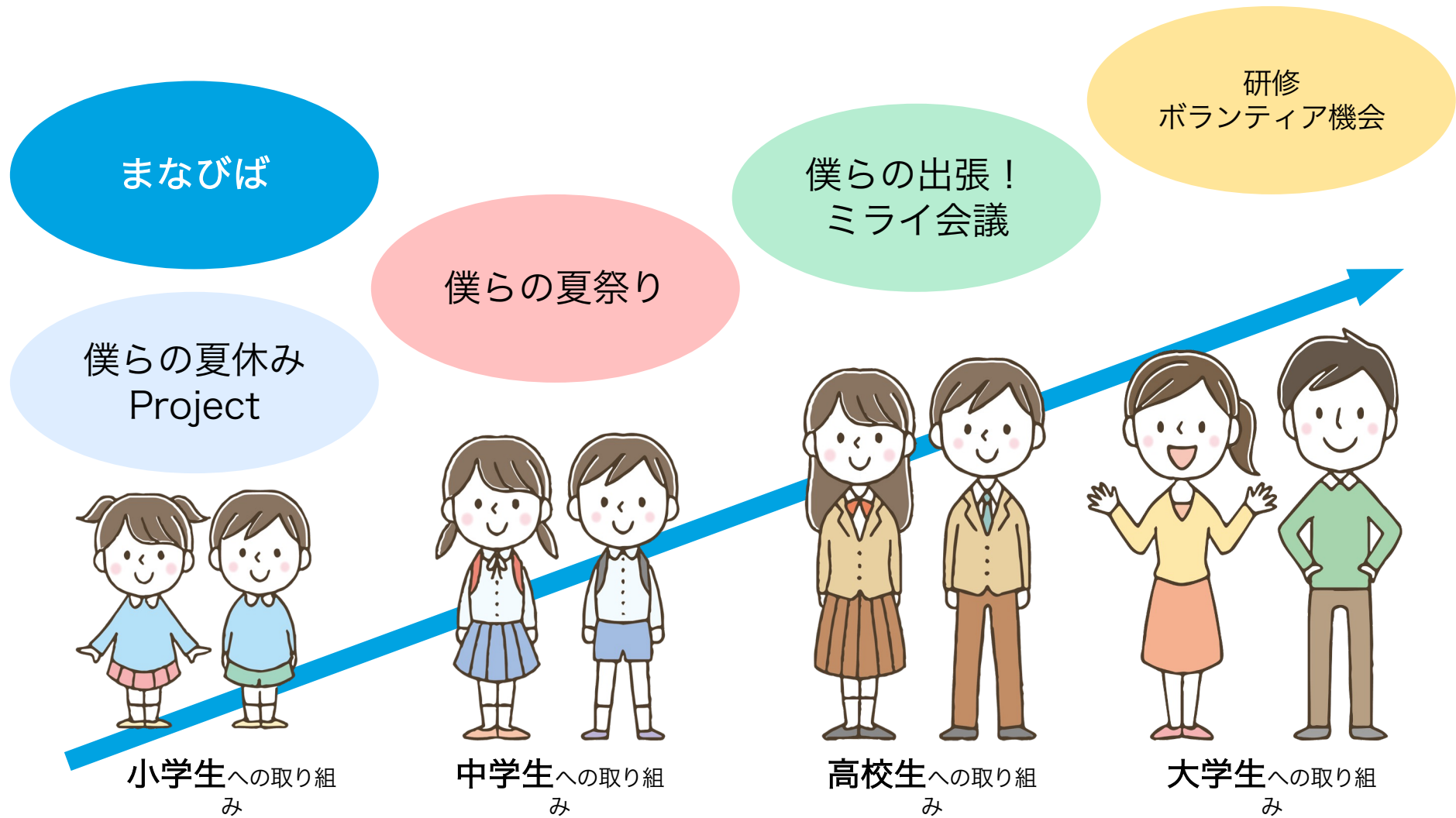
財務/税務

法務

不登校/ひきこもり

教育

事業について



僕らの夏休みProject



僕らの夏休みProject 概要

開催期間	: 8月8日～8月20日
開催地域	: 岩手県2市町（岩泉町、宮古市）福島県大熊町 : 上記地域の小学校3校（予定）
対象	: 児童100名程度
参加費	: 子ども無料 大学生有料
内容	: 子ども達の良いところを見つけ肯定し視野を広げるためのワークショップやレクリエーションを実施
後援	: 岩手県教育委員会、岩手県小学校校長連合会、岩手県PTA連合会 宮古市、岩泉町、大熊町

このプロジェクトを通して感じて欲しい5つのこと

思いきり
愛されている
という安心感

対人関係に
おけるコミュ
ニケーション
能力

自分も他者も
大事に思う
気持ち

その場所に
生まれた
ことを肯定的
に思える心

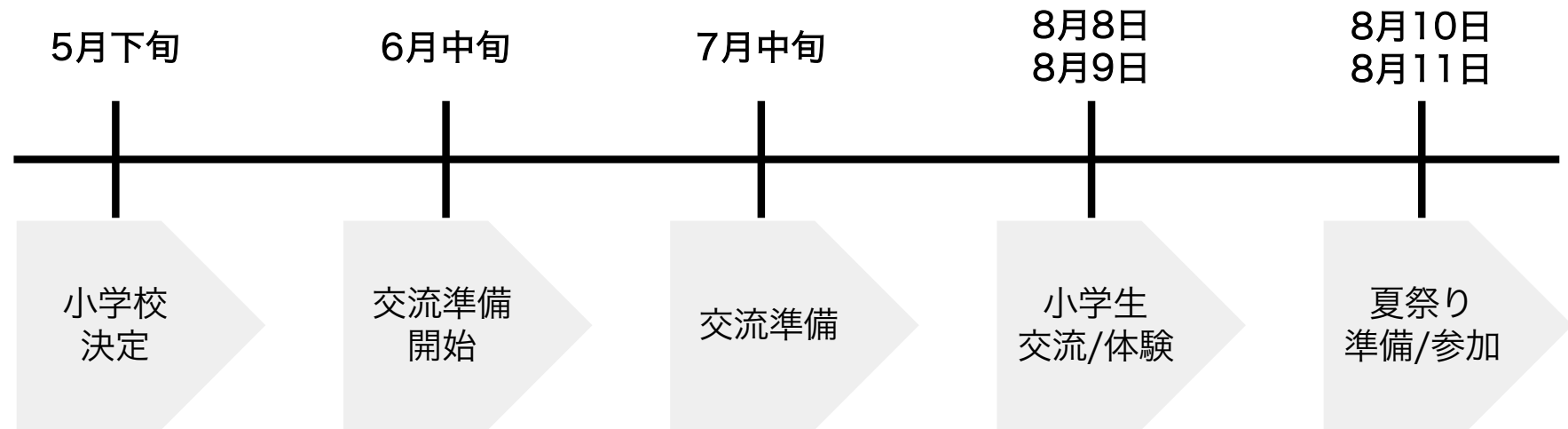
自分の将来に
対する幅広い
選択肢と
可能性

僕らの夏休みProject 岩泉町の予定



時間	8月8日 (火)	8月9日 (水)	8月10日 (木)	8月11日 (金)
10:00~11:00	大学生自主企画①	現地コーディネーター 主催体験プログラム②	解散/移動	当日準備
11:00~12:00	大学生自主企画②		前日準備	
12:00~13:00	休憩 (昼食/弁当)			
13:00~14:00	現地コーディネーター 主催体験プログラム①	大学生自主企画③		僕らの夏祭り in赤前
14:00~15:00				
15:00~19:00	宿舎=食事/風呂/翌日準備	宿舎=風呂/地域交流会	僕らの夏祭り前夜祭	

僕らの夏休みProject 流れ



小学校決定

: 各地域の開催小学校を決定

交流準備開始

: キックオフmtg、企画準備開始

交流準備

: 企画のブラッシュアップ、制作準備 等

交流/体験

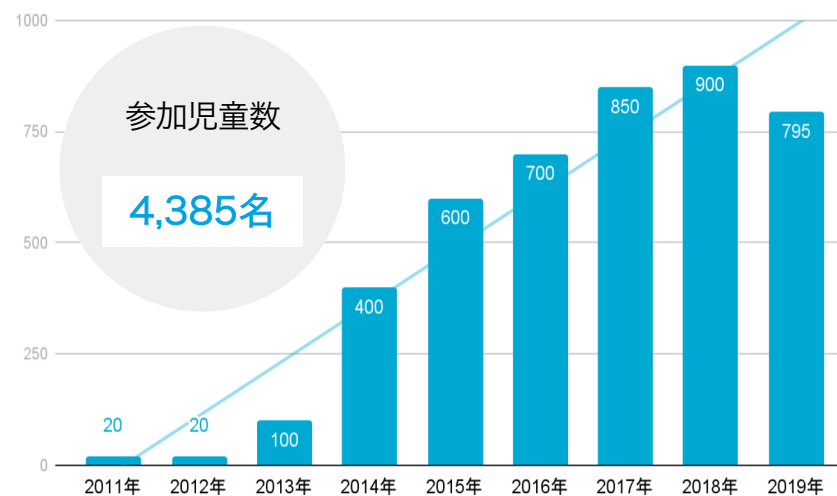
: 8月8日～8月9日の2日間（午前2時間&午後2時間）で実施

※現地コーディネーター主催「地域体験プログラム」も予定

夏祭り準備/参加

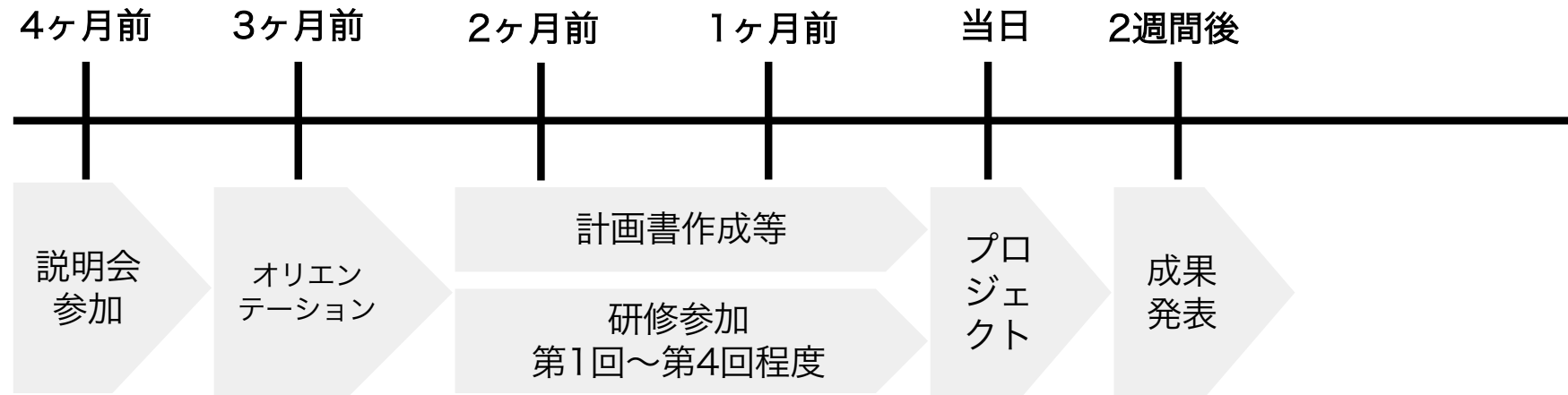
: （希望者）→宮古市に移動して夏祭りの前日準備と当日参加

僕らの夏休みProject 実績



- 岩泉 : 三升石、岩泉、門、小川、夫川、小本
- 宮古 : 田老第一、田老第三、崎山、鍬ヶ崎、宮古、山口、新里、藤原、磯鷄、高浜、津軽石、赤前、重茂
- 山田 : 荒川、豊間根、夫沢、山田北、山田南、織笠&轟木、夫浦、船越、山田
- 大槌 : 大槌学園
- 釜石 : 鵜住居


ボランティア参加から終了までの流れ

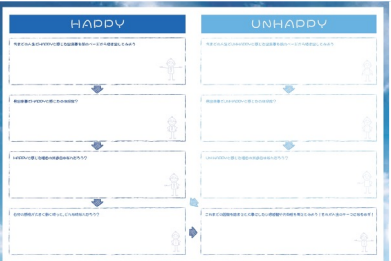


説明会	: 法人が目指す社会、使命、事業内容等を紹介
オリエンテーション	: ボランティアのルールや注意事項等を紹介
研修	: ①自己理解②チームワークショップ③企画テーマ設定④演習
企画	: 僕らの夏休みProject
成果発表	: 企画を実践した結果を元に個人の行動目標発表
メンター相談等	: 社会人によるキャリアセミナー、相談会でストーリーの整理

大学生ボランティア 研修事例

自己理解





5/30 第1期 ボランティア研修①松尾チーム

本質的問題 (誰の) ためか?	本質的価値 (誰の) ためか?	本質的課題 (誰の) ためか?	本質的解決策 (誰の) ためか?
みんなが笑顔になれるように、自分自身も笑顔になれるように、多岐にわたる活動を通じて、多岐にわたる課題を解決できるようにしたい。	笑顔になれるように、自分自身も笑顔になれるように、多岐にわたる活動を通じて、多岐にわたる課題を解決できるようにしたい。	笑顔になれるように、自分自身も笑顔になれるように、多岐にわたる活動を通じて、多岐にわたる課題を解決できるようにしたい。	笑顔になれるように、自分自身も笑顔になれるように、多岐にわたる活動を通じて、多岐にわたる課題を解決できるようにしたい。

5/30 第1期 ボランティア研修①

本質的問題 (誰の) ためか?	本質的価値 (誰の) ためか?	本質的課題 (誰の) ためか?	本質的解決策 (誰の) ためか?
みんなが笑顔になれるように、自分自身も笑顔になれるように、多岐にわたる活動を通じて、多岐にわたる課題を解決できるようにしたい。	笑顔になれるように、自分自身も笑顔になれるように、多岐にわたる活動を通じて、多岐にわたる課題を解決できるようにしたい。	笑顔になれるように、自分自身も笑顔になれるように、多岐にわたる活動を通じて、多岐にわたる課題を解決できるようにしたい。	笑顔になれるように、自分自身も笑顔になれるように、多岐にわたる活動を通じて、多岐にわたる課題を解決できるようにしたい。

チーム



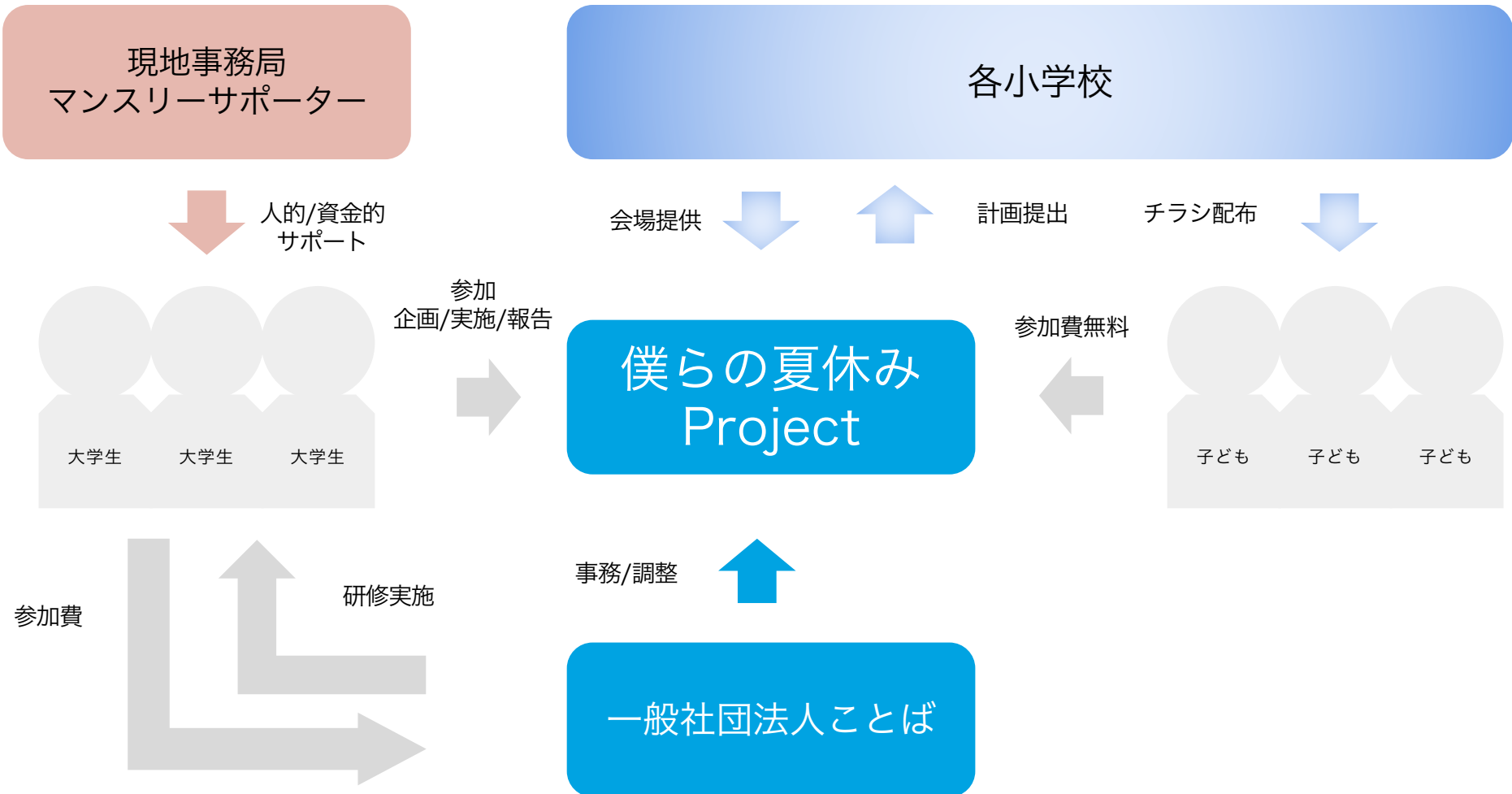
企画設定



演習



僕らの夏休みProjectの実施体制



僕らの夏休みProjectとの出会いにより、こんな声が届いています

児童のことを長く見守ってくれる存在が
学校外にもいるのはとても嬉しい。
子どもたちの頑張る理由になっています。
(受け入れ小学校 校長)

夏休み期間も仕事なので、その時間に
子どもたちがやったことのないことを経験できて
親としてとても助かっています。
(山口小学校 保護者)

学童は「見守り」体制であることが多いため、大
学生と一緒に体を動かして、ヘトヘトになるくら
い遊んでくれるのが嬉しいです。ぼくなつのおか
げで夏休みの学童に通うのが楽しみになりました。
(山田南小学校 保護者)

夏に来てくれた〇〇（大学生の名前）と同じ
大学に行きたいから、勉強頑張りたい！！
(豊間根小学校 参加児童)

親御さんの借金や将来への不安が拭えて
いないので、震災後に生まれた児童にも
自己肯定感などの面で影響はある。
そこにお兄さんお姉さんが入って
児童と対話してくれることに意味がある。
(受け入れ小学校 副校長)

教育学部の学生が教育現場に入って
実際に児童と関わるいい勉強の機会にも
なっている。学生たちの教員採用試験結果も気にな
って連絡してしまいました！
(受け入れ小学校 副校長)

僕らの夏休みProjectとの出会いにより、こんな声が届いています

僕夏の魅力はなんといっても所属している「人」です。僕夏のメンバーはみんな人としての器が大きく、相手のことを思いやれる人が多いです。そんなメンバーと一緒に活動できるこの団体が大好きです。

誰かのために何かをするのではなく、自分のために何かをすると、自分も楽しめ、結果として周りを巻き込むことができるということに気づけたのが僕夏での最大の学びです。

なにかに本気になるってかっこいい、と気付かされた場所です。「何のために活動するのか」ブレない軸が常に目の前にあったし、熱い思いを持って本気でぶつかり合う仲間がいたので、自分自身が変わった場所でもあると思う。

「何のために」っていう思いに共感することが、一番の自分の原動力になるんだなってことに気付かされました。

僕夏ではつねに、自分はなぜこの活動をしているのか、誰に何を届けたいのかということを考えてもらうきっかけを与えられます。そのため、団体のメンバーみんなが自分なりの思いをもって、活動に取り組んでいます。思いをもって活動に取り組むことの楽しさ、大切さを僕夏の活動、周りのメンバーから学びました。それが僕夏から得られたことです。

一言で言うと「人との関わり方」です。私は人と関わるのが得意ではなく、初対面の人とは話せない。話せても話題を作れない。といったことが多かったです。しかし2年目に学生事務局という立場で、初対面の人と話すのは当たり前。新しく入ってきた学生たちとも親睦を深める必要があり、苦手だった部分と自分なりに見つめ合い、苦手意識はなくなりました。また、先輩、後輩という関係性の中で自分なりにメリハリをつけ、自分の経験をどうしたら後輩たちにうまく伝えられるかを考え、実行できるようになりました。

僕らのまなびばin豊島

実施背景

▼活動開始2011年の東日本大震災

【僕らの夏休みProject】

岩手県沿岸地域の小学校で開始
小学生と大学生の異世代間交流
「最低でも10年間活動を継続する」



【活動継続中の課題】

「岩手以外の地域には行かないの？」
「被災した東北の宮城や福島は？」
「全国の子ども達のもとに行きたい」



【組織的な課題感】

「活動開始のきっかけが見当たらない」
「組織の人手が不足している」
「活動資金が不足している」



実施背景

▼在住外国人の子どもサポート開始

- 第15回社会貢献活動見本市でプレゼン
岩手の子ども達に日常的に関わるために
「オンラインの学習サポート」を実施
- 豊島区内で活動する団体から連携依頼
その団体は日本に在住する外国人妊婦を
対象として産前産後の精神/身体的サポート



Mother's Tree Japan代表 坪野谷さん



見本市 主催者と

実施背景

▼外国にルーツを持つ子が増加中

○毎年**2,000名**を超える数で増えている
20歳代、留学生、単身世帯から増加

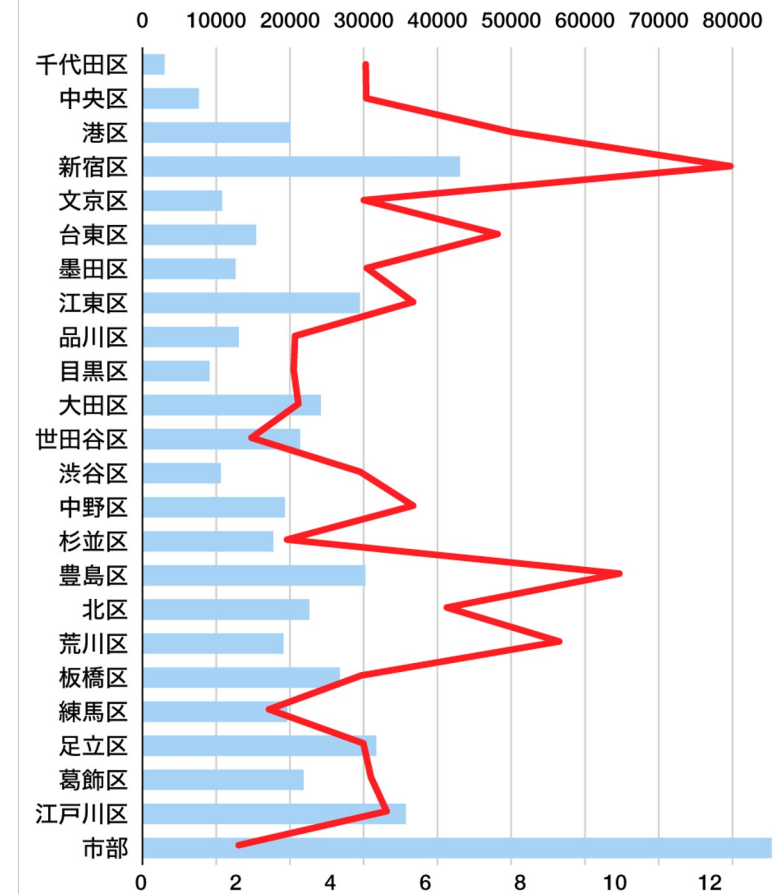
○外国籍住民の多国籍化 (**100カ国以上**)
中国、ベトナム、ネパール、韓国、
ミャンマー、フィリピン、アメリカ、
タイ、バングラデシュと続く。

○直近の増加傾向
ベトナム・・・13倍
ネパール・・・5倍
ミャンマー・・・3倍

○人口の**1割**が外国人
豊島区は新宿区に次いで外国人が多い

(出典：平成31年3月豊島区多文化共生推進基本方針)

各区ごとの外国人数と割合



東京都総務局人口統計課のデータを基に編集部作成
(各年1月1日現在)

事業概要

開催時期	: 令和4年2月～令和4年3月
開催場所	: みんなのえんがわ池袋
開催頻度	: 5回 (毎週日曜日2ヶ月)
参加児童	: 10名程度
大学生	: 5名※交通費実費支給
料金	: 無料
プログラム	: 学校の宿題または教室で用意したプリント学習
内容	大学生とのコミュニケーション交流 屋内・屋外レクリエーション
連携体制	NPO法人としまNPO推進協議会
助成金	: R3年「東京都在住外国人支援事業助成」採択



ふゆも おこいさん おねえさんと いっしょに
べんきょうしてあそぼう!

OPEN 2/13 (日), 20 (日), 27 (日)
3/20 (日), 27 (日)
すべて 10:00-12:00

申し込み
まえのひままでに
もうしこんでください!

もちもの
・しゃくだい
(なければこちらで
ドリルをよういします)
・ふでばこ
・よごれてもいいふく
・のみもの

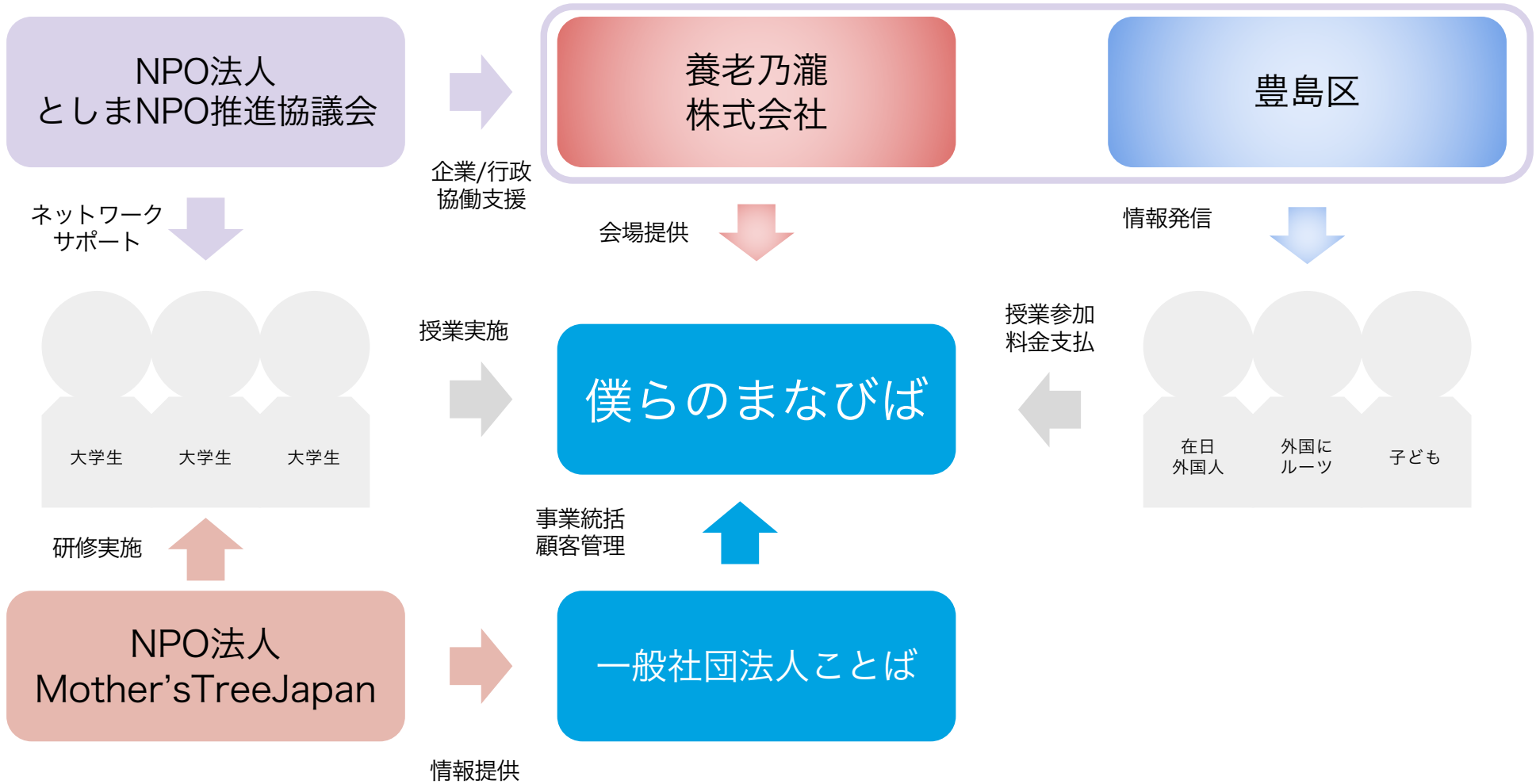
ばしょ
地域交流サロン
みんなのえんがわ
いけぶくろ
〒171-0014
としまくいけぶくろ3-30-21
マルモビル1F

スタッフ
いつもがっこうがおわってから
いっしょにべんきょうしている
「ことば」のメンバーがきます!
あったことがない子たちも、
すぐになかよくなるはず!
ぜひきてください!

みんなのえんがわ池袋
みらい館大明
池袋第二公園
池袋図書館
関野病院
ケアサービス
明和工芸
美容室
要町駅
鈴木鮮魚店
エーゲ海
花屋
日研工業
遊大陸
Hotel Strix tokyo
池袋駅西口

運営: 一般社団法人ことば (新宿区新宿7-26-7ビクセル1F)
お問い合わせ: info@kotoba.life (きかもととあで)
※東京都在住外国人支援事業助成の対象事業です。

僕らのまなびばin豊島の実施体制



僕らの夏祭り

僕らの夏祭り 概要

2011年度の第1回目から「僕らの夏休みProject」の活動とセットで8月11日の月命日に行なっている「**僕らの夏祭り**」です。その中で、僕らの夏休みProjectに参加する学生たちは運営に携わったり子どもと遊べるコーナーを担当したりしています。

地域住民やPTA、行政などによる実行委員会を現地に組織したり他団体と連携したりしながら地域のお年寄りたちから子どもたちまで参加できる幅広い世代の交流の場になるような計画を行なっています。

赤前会場
(宮古市) 2011年～
2013年～現地実行委員会を組織

大沢小学校
(山田町) 2014年～/小学校PTAと連携

田老会場
(宮古市) 2016年～/LIGHT UP NIPPONと連携

大槌会場
(大槌町) 2016年～/LIGHT UP NIPPONと連携

腹帯会場
(宮古市) 2018年～/現地実行委員会を組織

鍬ヶ崎会場
(宮古市) 2019年～/宮古市役所と連携



LIGHT UP NIPPONとは？

毎年8月11日に東日本大震災で亡くなった方の「追悼」と大きな被害を受けた地域の「復興」を祈り東北複数箇所で花火を打ち上げている団体です。



僕らの夏祭り 事例

日時 8月11日（日）13時～17時

場所 宮古市（田老、鍬ヶ崎、腹帯、赤前）
大槌町（波板）

来場者 約800名

内容 子ども向けワークショップ
盆踊り
カラオケ大会
腕相撲大会
ソーラン節 等

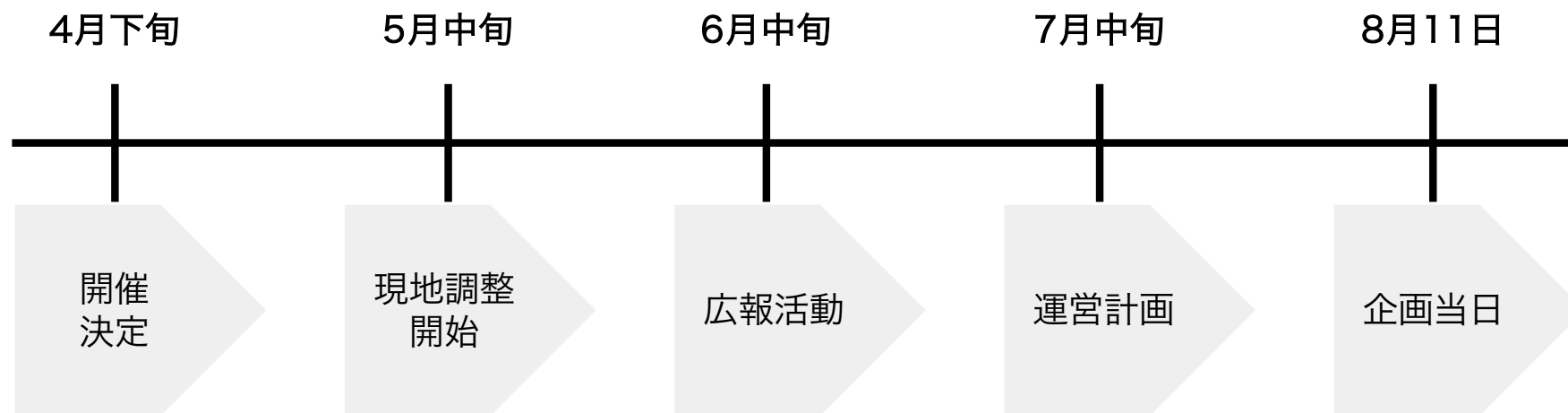
主催 僕らの夏祭り実行委員会

共催&協力 一般社団法人ことば

後援 宮古市、宮古市教育委員会 等



僕らの夏祭り 流れ



開催決定

: 開催有無は現地の実行委員会が決定する。

現地調整開始

: 各会場の現地実行委員会担当者とやりとり開始する。

広報活動

: 当日のイベント実施に向けて広報活動開始する。

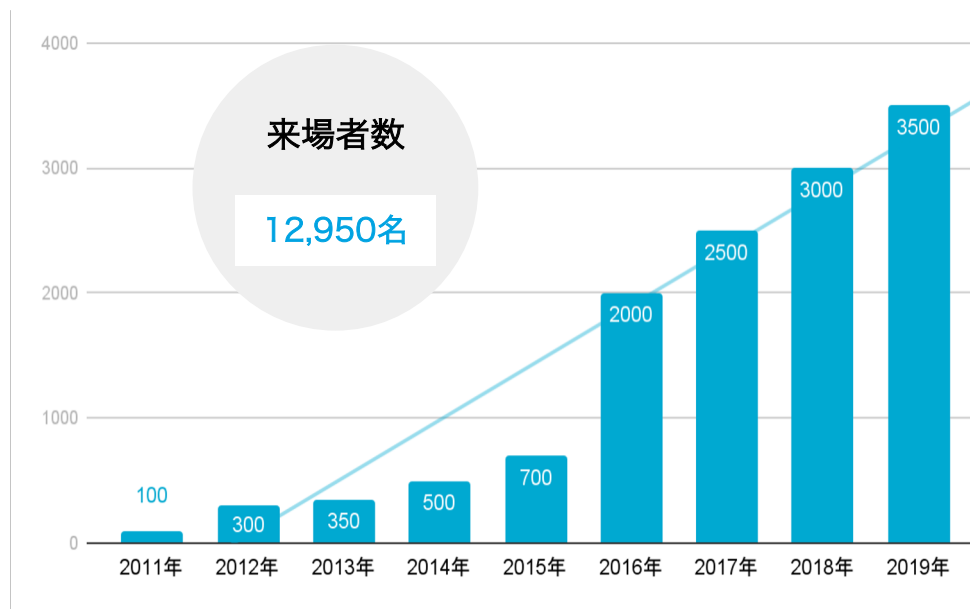
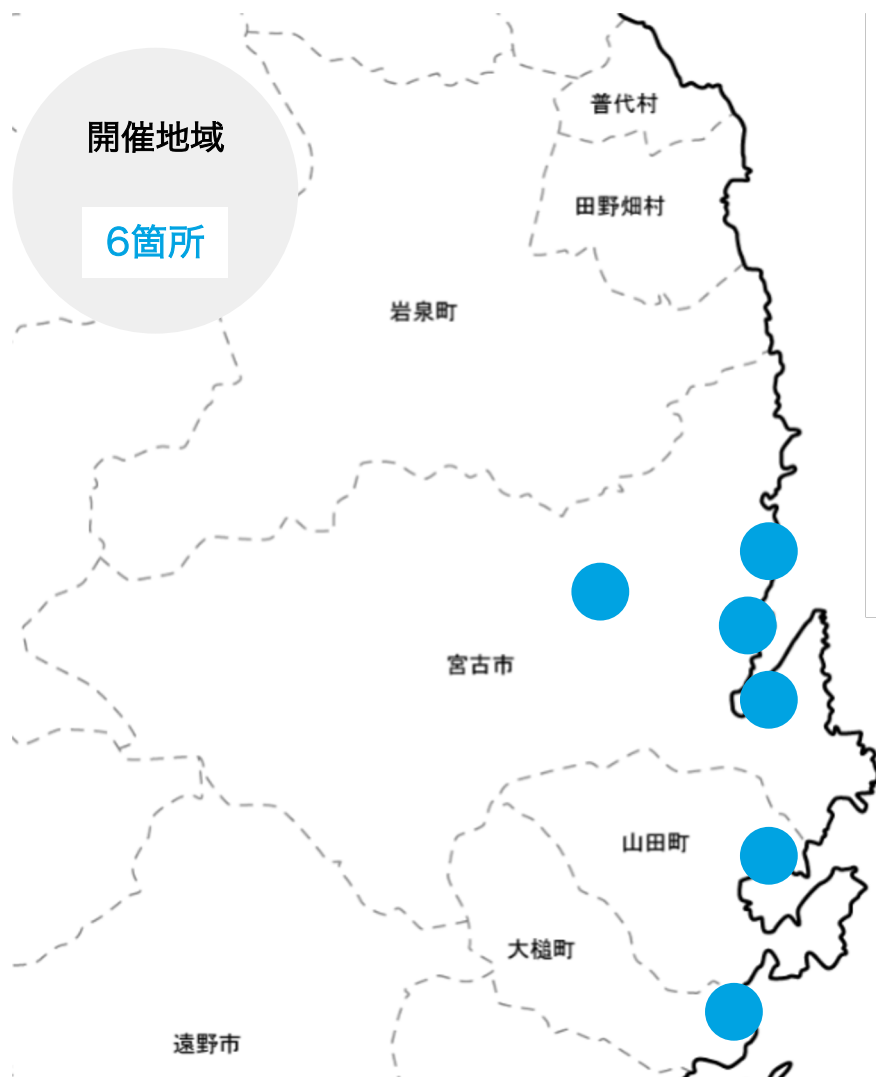
運営計画

: 当日の運営の詳細を決定する。

企画当日

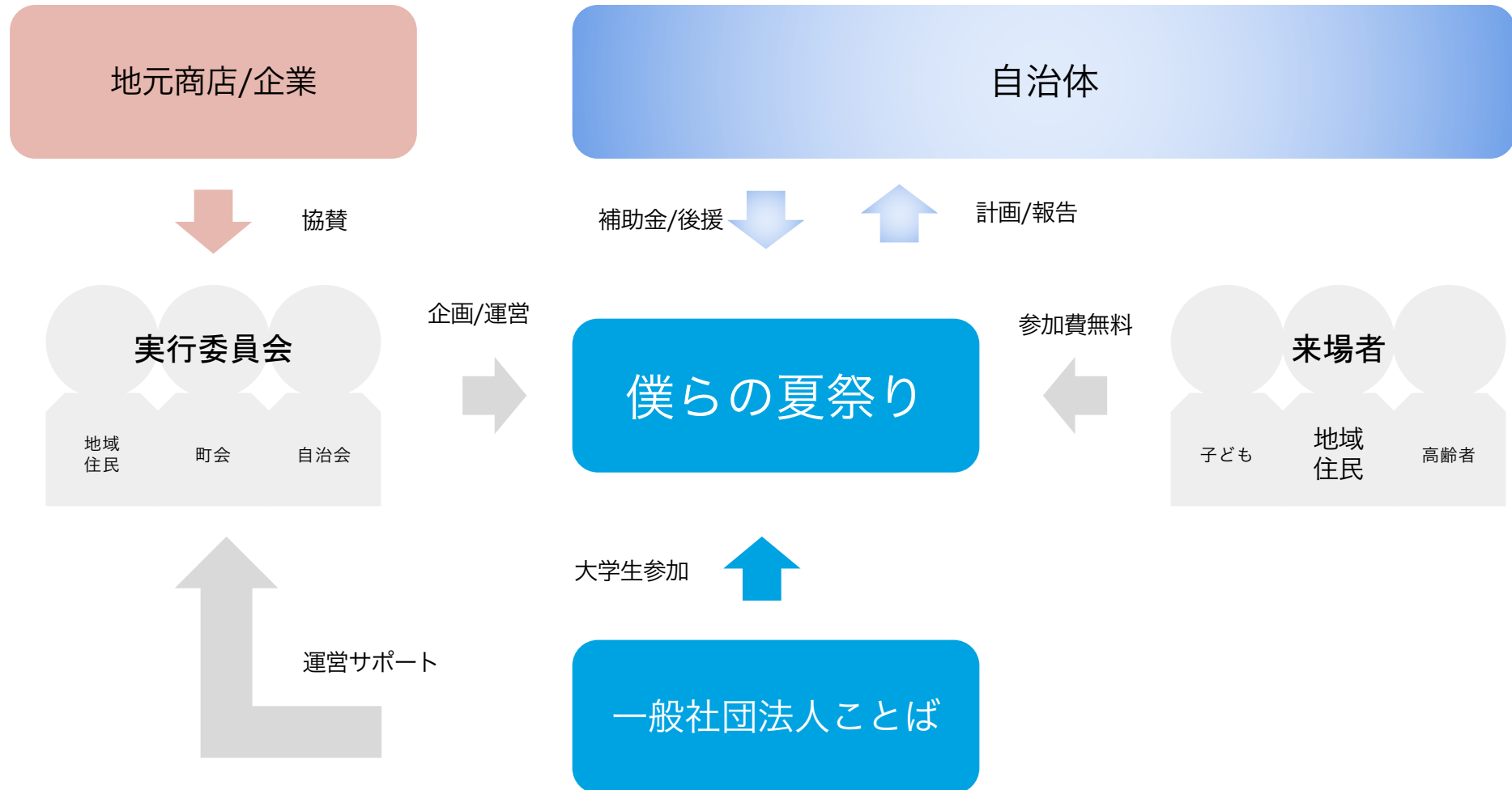
: 8月11日13時~19時で実施する。

僕らの夏休みProject 実績



宮古市：~~田老（主催：LUN）~~
~~七滝（主催：市役所）~~
~~腹帯（主催：自治会）~~
~~赤前（主催：実行委員会）~~
山田町：~~夫沢（主催：小学校PTA）~~
大槌町：~~波板（主催：LUN）~~

僕らの夏祭りの実施体制



僕らの夏祭りとの出会いにより、こんな声が届いています

2013年に自分達が実行委員会を組織して運営してきたけど、子どもから地域の大人がことばの大学生メンバーと再開できる貴重な場を作れて嬉しい。
「会える」ことが本当に素晴らしい。
(地域実行委員会 委員長)

地域の若者が少なくなっていった、毎年開催していた盆踊りができなくなってしまったが、若者の力を借りて30年ぶりにお祭りを開催できて本当に嬉しい。
(地元実行委員会 委員長)

2018年に大学生と地域住民の想いから夏祭りが始まって、関東の大学生が地域のことを考えてくれるのが本当に嬉しい。
(地域実行委員会 事務局)

150名しかいない町に関東から100名の大学生(若者)が町を訪れてくれて一緒に地域を盛り上げてくれてありがたい。
(地元実行委員会 事務局)

「町に行っても何も無い。」という中で地域の人と大学生、地域出身の若者の力を集めてお祭りを開催することができたので、来年もまたぜひ開催したい。
(自治会長)

2011年の東日本大震災で地域コミュニティが崩壊してしまい、隣に住む人との関係もなくなってしまいお祭りを通して、交流するきっかけができた。
(地域住民)

僕らの出張ミライ会議

僕らの出張ミライ会議 概要

2018年度の3月に第1回目の「僕らの出張！ミライ会議」を開催しました。2011年の東日本大震災をきっかけに僕らの夏休みProjectを開始し、今年で11回目を迎えます。そんな中で、小学生と大学生が交流する活動を続けていきましたが、小学校を卒業した後の中高生に対して何もできていませんでした。

そのため、僕らの出張ミライ会議では、高校生を対象に本音で選ぶ進路相談会を開催しました。第2回目を迎える今回は前回よりも多くの高校生を対象に活動を行う予定です。

日時 2020年3月6日（金）13時～17時@延期

場所 イーストピアみやこ
（岩手県宮古市宮町一丁目1番30号）

対象 宮古市内の高校生2600名

内容 首都圏の大学生による進路相談イベント

運営
メンバー 首都圏10以上の大学の学生

主催 一般社団法人ことば



第1回僕らの出張ミライ会議の実績

日時：2019年3月6日

場所：イーストピアみやこ

参加：9名（高校生）
15名（大学生）

収入：522,000

支出：324,151

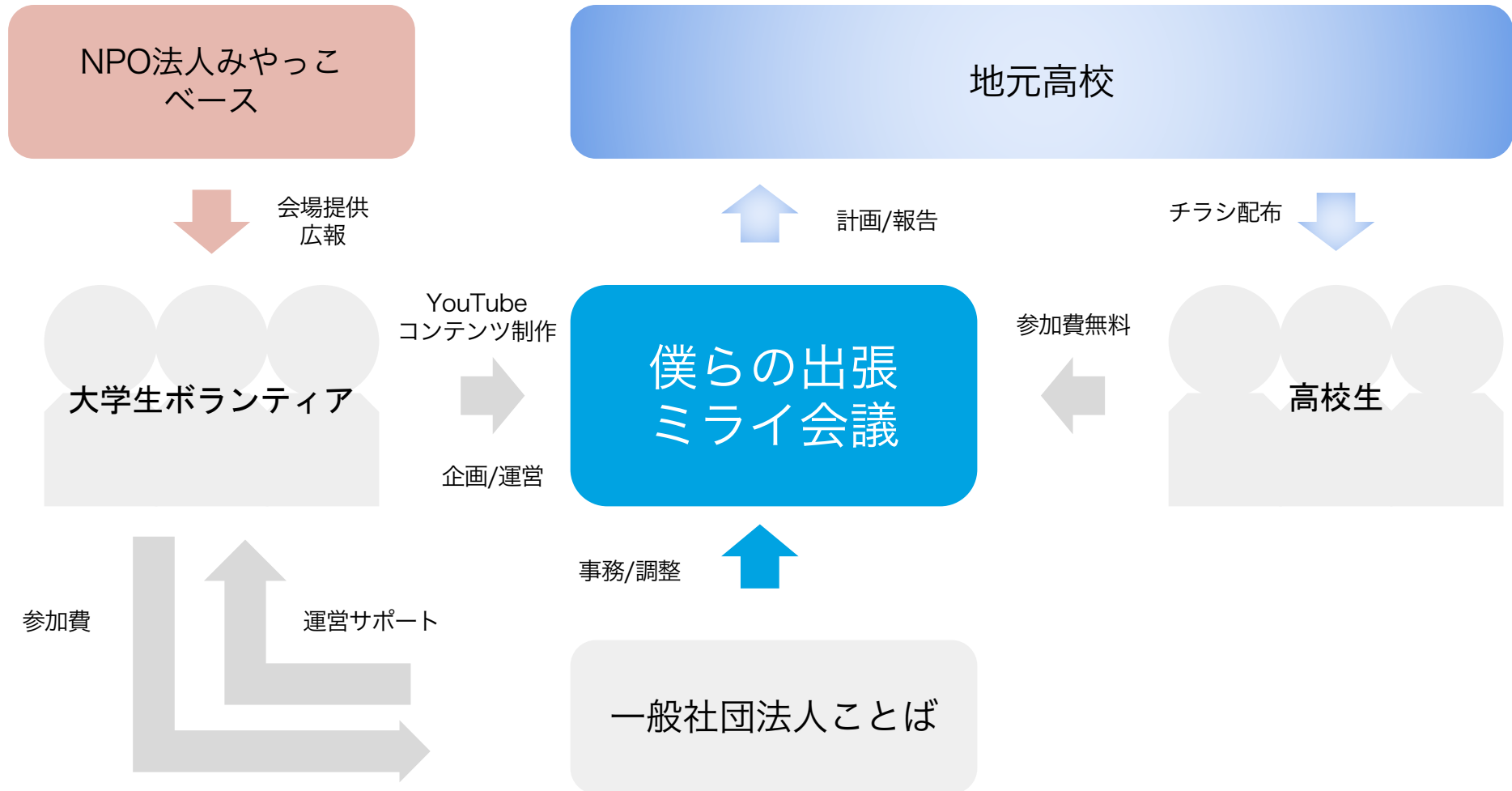


僕らの出張ミライ会議 YouTube



YouTubeを活用した進路サポート「ミライのアンテナ」

僕らの出張ミライ会議の実施体制



僕らの出張ミライ会議の出会いにより、こんな声が届いています

参加する前は進路も自分もやりたいことも夢もほぼゼロに近いくらい決まっていませんでした。しかしこのイベントに参加して、先輩たちとお話する中で、今までの自分には考えられなかったような考え方とか、おすすめの学部とかこれをやった方がいいよ。というアドバイスをもらい、それが自分の中でプラスになり、「いまホンネで掴みたいミライ」を具体的に考えて決めることができました。これはやはり一人では絶対に決められなかったことなので、このイベントに参加してミライがはっきりしてよかったです。

(高校生1年生 Aさん)

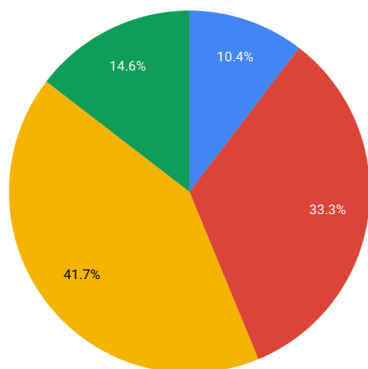
最初はこのイベントがどんな感じかわからなかったけど、たくさんの先輩が話しかけてくれて、みんな優しくて明るくて、ミライのことを考えたことはあるけど、具体的にわからないことがいっぱいあって、それをたくさん教えてもらえて学べたこともいっぱいあったし、自分もこんな風になりたいという先輩たちの姿がたくさん見れて、目標に迎えてすごくよかったです。ありがとうございました。

(高校生1年生 Bさん)

ボランティア機会の提 供

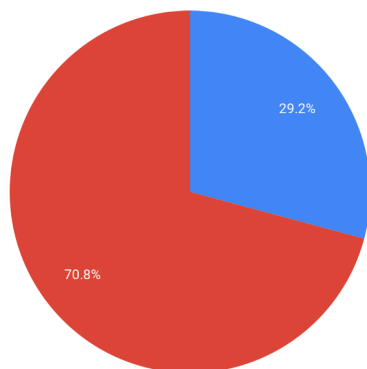
一般社団法人ことば | 大学生の参加実績

学年別



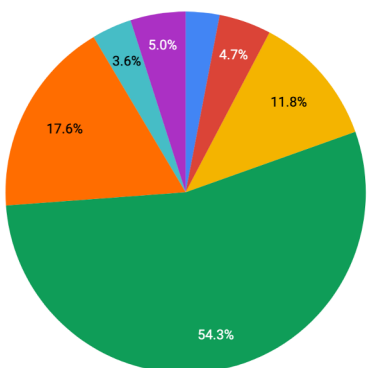
3,4年生の割合が多い

男女比



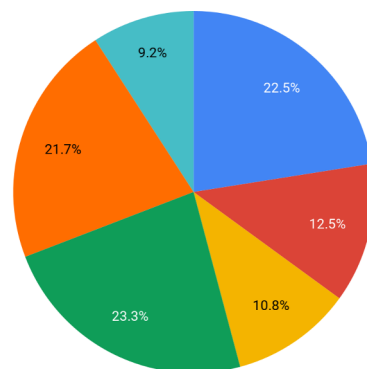
女性が7割

所属専攻



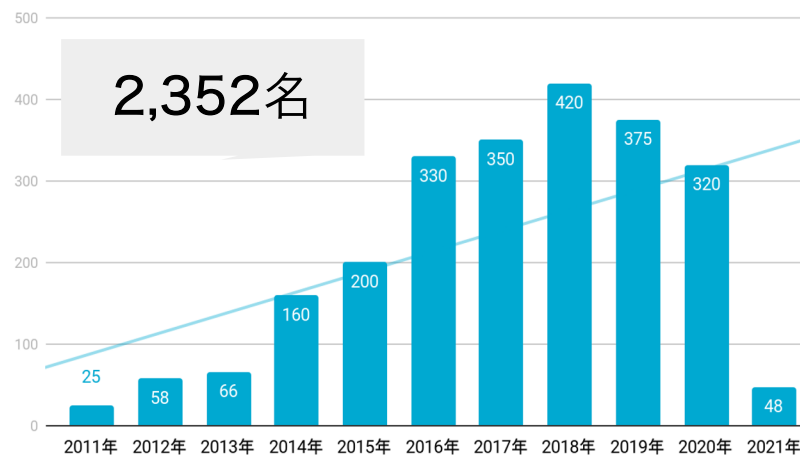
教育系が過半数を占める

興味関心



1位: 不登校/引きこもり
2位: 災害/被災地/防災
3位: 地方創生/コミュニティ

参加大学生数の推移



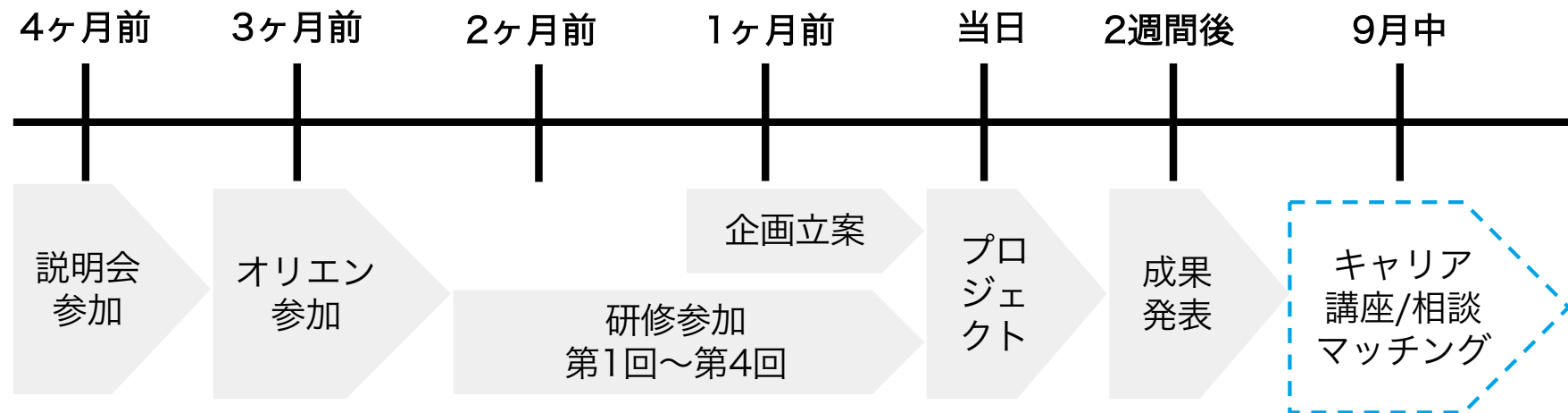
50校以上

一橋、筑波、横浜国立、早稲田、上智、青山学院、法政、明治学院、津田塾、駒澤、国際基督教、東京都市、東洋、専修、白梅学園、玉川、国士舘、埼玉県立、武蔵野、東邦、文教、獨協、福島県立医科、昭和女子、明星、帝京、名寄市立、実践女子 等

大学生ボランティアの規模感




ボランティア参加から終了までの流れ

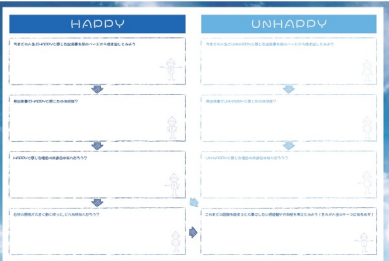


説明会	: 法人が目指す社会、使命、事業内容等を紹介
オリエンテーション	: ボランティアのルールや注意事項等を紹介
研修	: ①自己理解②チームワークショップ③企画テーマ設定④演習
企画実施	
成果発表	: 企画を実践した結果を元に個人の行動目標発表
キャリア講座/相談	: 社会人によるキャリアセミナー、相談会でストーリーの整理

大学生ボランティア 研修事例

自己理解





5/30 第1期 ボランティア研修①松尾チーム

本名	研修前	研修後
山本 美穂	自分の強みや得意なことがあまりない。人と話すのが苦手。自分自身のことでもよくわからない。	研修を通して自分の強みや得意なことがわかった。人と話すのが少しづつ楽しくなってきた。自分自身のことでもよくわかるようになった。
佐藤 花	自分の強みや得意なことがあまりない。人と話すのが苦手。自分自身のことでもよくわからない。	研修を通して自分の強みや得意なことがわかった。人と話すのが少しづつ楽しくなってきた。自分自身のことでもよくわかるようになった。
田中 翔	自分の強みや得意なことがあまりない。人と話すのが苦手。自分自身のことでもよくわからない。	研修を通して自分の強みや得意なことがわかった。人と話すのが少しづつ楽しくなってきた。自分自身のことでもよくわかるようになった。
鈴木 健	自分の強みや得意なことがあまりない。人と話すのが苦手。自分自身のことでもよくわからない。	研修を通して自分の強みや得意なことがわかった。人と話すのが少しづつ楽しくなってきた。自分自身のことでもよくわかるようになった。

5/30 第1期 ボランティア研修①

本名	研修前	研修後
山本 美穂	自分の強みや得意なことがあまりない。人と話すのが苦手。自分自身のことでもよくわからない。	研修を通して自分の強みや得意なことがわかった。人と話すのが少しづつ楽しくなってきた。自分自身のことでもよくわかるようになった。
佐藤 花	自分の強みや得意なことがあまりない。人と話すのが苦手。自分自身のことでもよくわからない。	研修を通して自分の強みや得意なことがわかった。人と話すのが少しづつ楽しくなってきた。自分自身のことでもよくわかるようになった。
田中 翔	自分の強みや得意なことがあまりない。人と話すのが苦手。自分自身のことでもよくわからない。	研修を通して自分の強みや得意なことがわかった。人と話すのが少しづつ楽しくなってきた。自分自身のことでもよくわかるようになった。
鈴木 健	自分の強みや得意なことがあまりない。人と話すのが苦手。自分自身のことでもよくわからない。	研修を通して自分の強みや得意なことがわかった。人と話すのが少しづつ楽しくなってきた。自分自身のことでもよくわかるようになった。

チーム



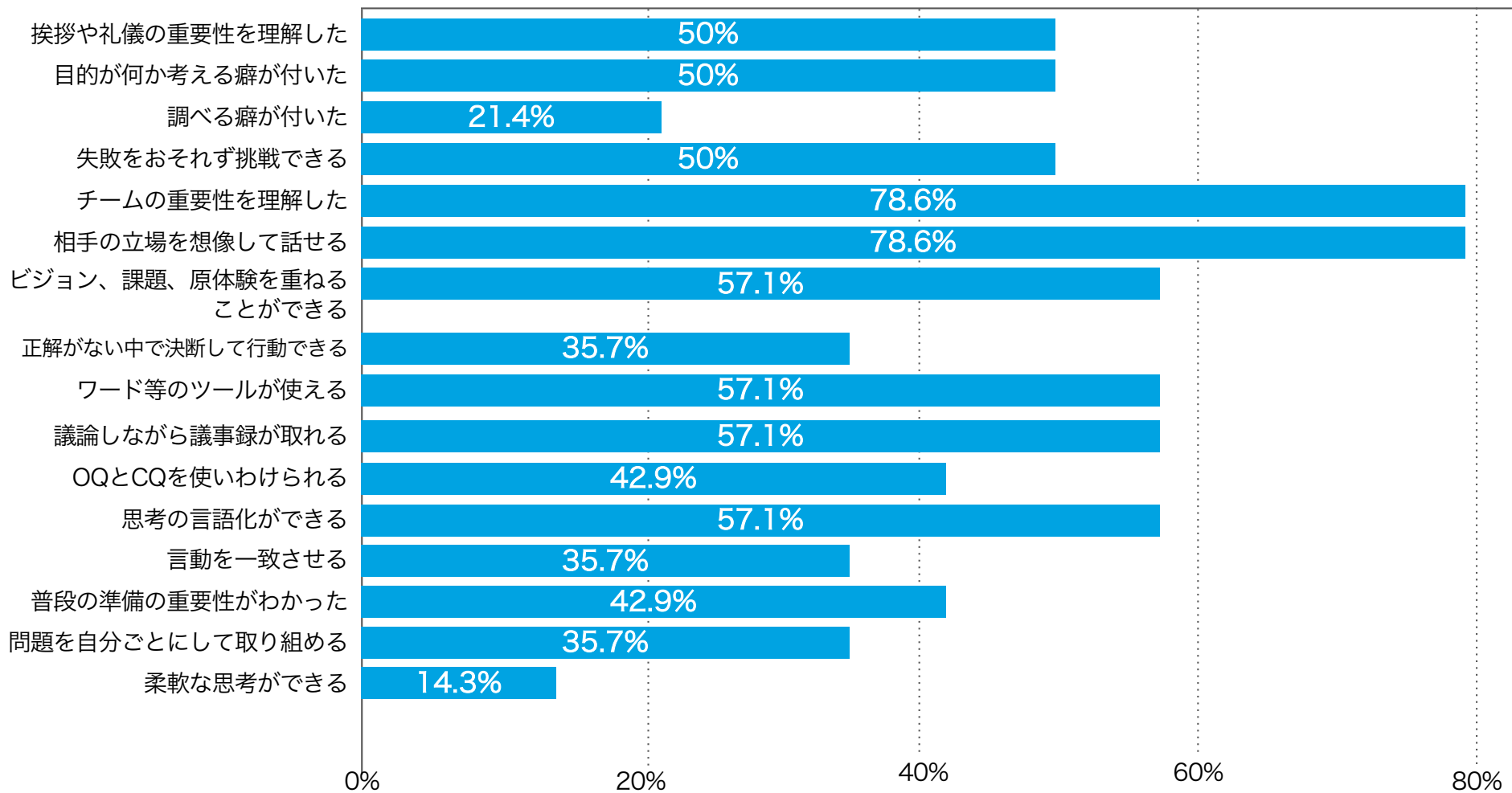
企画設定



演習



ボランティアに参加して得られたと思うこと



出典：令和3年「ことばに所属している大学4年生を対象にしたアンケート」

ボランティアに参加した大学生からこんな声が届いています

知らない人同士だったのに岩手県で1週間という短い時間で地域の方々と濃い関係を気づけた。これからもこの関係を切らせては行けないと思った。
(大学4年生)

一方方向や押しつけでなく想いを共有し合うことの難しさと素晴らしさを知りました。

(大学4年生)

子どもたちが覚えてくれていたこと、腹帯の方があたたかかったこと（盆踊りを教えに来て下さる、祭りで一瞬で距離が縮まる）大学生や理事との会話を通して自分自身と向き合えたりその人の強みに目を向けられるようになった

(大学4年生)

同じ目的のもと活動する団体競技的な一面がありながら、メンバー皆がレギュラーであったことは、ことばでの活動を続ける上で大きなポイントでした。自分のことはもちろん、他のメンバーにも目を向ける意識が養われたと感じます。

(大学4年生)

自己分析をすることが多く、自分と向き合うことができました。

(大学4年生)

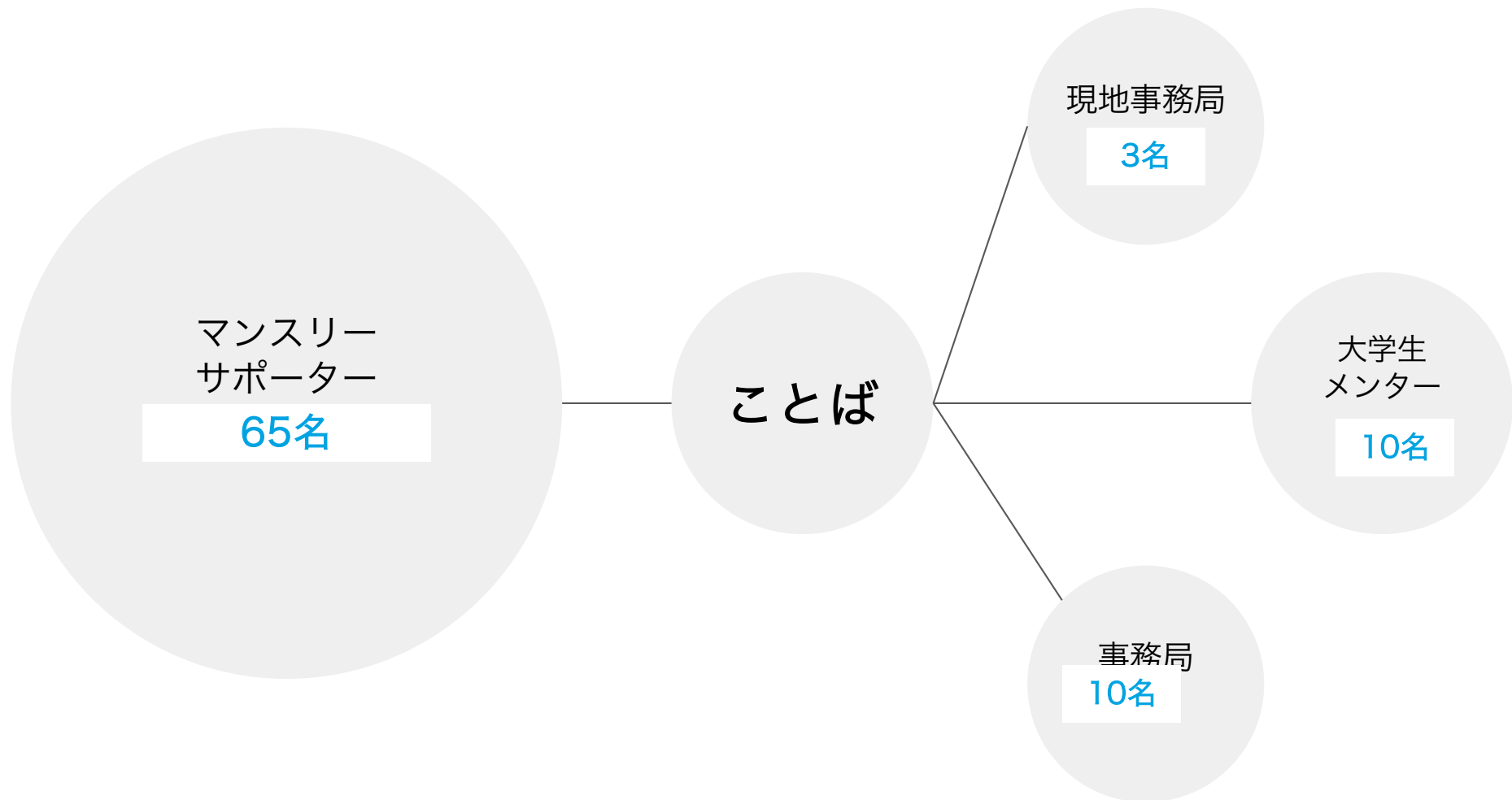
人と出会う素晴らしさとそこに生じる責任は4年間を通じて強く感じました。

(大学4年生)

ボランティアに参加した大学生の進路

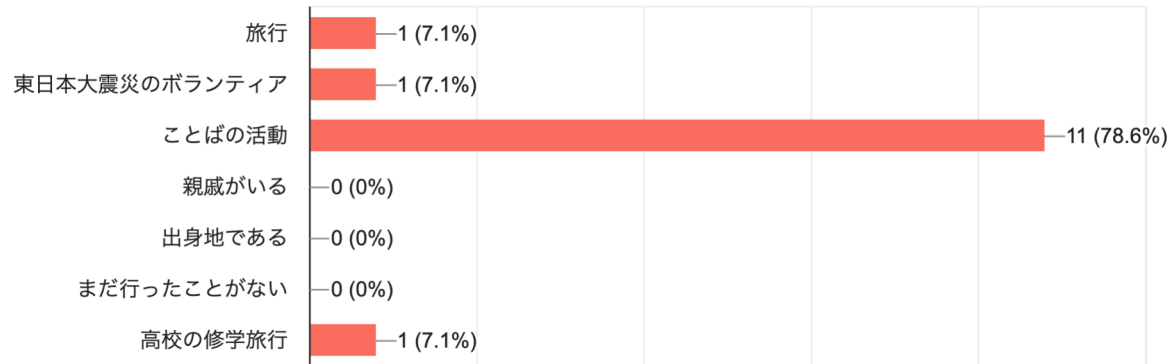
教育/福祉 医療	保育士 幼稚園教諭	小学校教員	中学校教員	高校教員
	社会福祉士	看護師		
国/自治体	独立行政法人 職員	都道府県庁職員	市町村役場職員	地域おこし 協力隊
その他	東海旅客鉄道 株式会社	ソフトバンク 株式会社	全日本空輸 株式会社	株式会社 日本経済新聞社
	凸版印刷 株式会社	LINE 株式会社	全日本空輸 株式会社	日本マイクロソフト 株式会社
	株式会社 LITALICO	株式会社 LIFULL	株式会社 サイバーエージェント	トヨタ自動車 株式会社
	株式会社 四谷大塚	株式会社 三菱UFJ銀行	楽天グループ 株式会社	株式会社 VOYAGE GROUP
	株式会社 湘南ゼミナール	日産自動車 株式会社	株式会社 リクルート	その他 多数

ボランティアOBOGの関わり



ことばの活動で初めて地域を訪れ旅行よりも高い料金を支払っている

Q.初めて訪れたきっかけ
ことばの活動



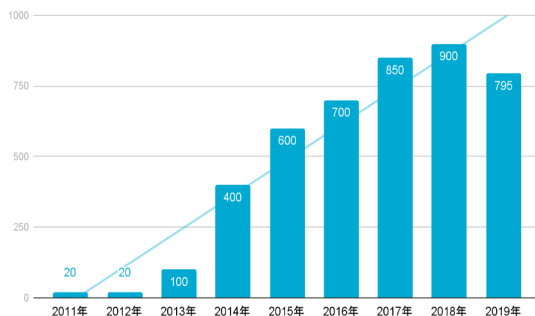
出典：ことばの大学生4年生に聞きました。

子どもや地域のために活動する大学生が国内旅行料以上の参加費を払って参加している。

日本人国内延べ旅行者数、日本人国内旅行の1人1回当たり旅行単価

- 2018年の日本人国内延べ旅行者数は**5億6,178万人**（前年比13.2%減）、うち宿泊旅行が2億9,105万人（前年比10.0%減）、日帰り旅行が2億7,073万人（前年比16.5%減）となった。
- 2018年の日本人国内旅行の**1人1回当たり旅行単価は36,462円/人**（前年比11.8%増）、宿泊の有無で見ると、宿泊旅行が54,300円/人（前年比9.2%増）、日帰り旅行が17,285円/人（前年比11.3%増）となった。

出典：旅行・観光消費動向調査の2018年年間値（2019年 観光庁）



これまでの10年間で2,300人を超える大学生が参加

大学生卒業後も訪れたい地域になる

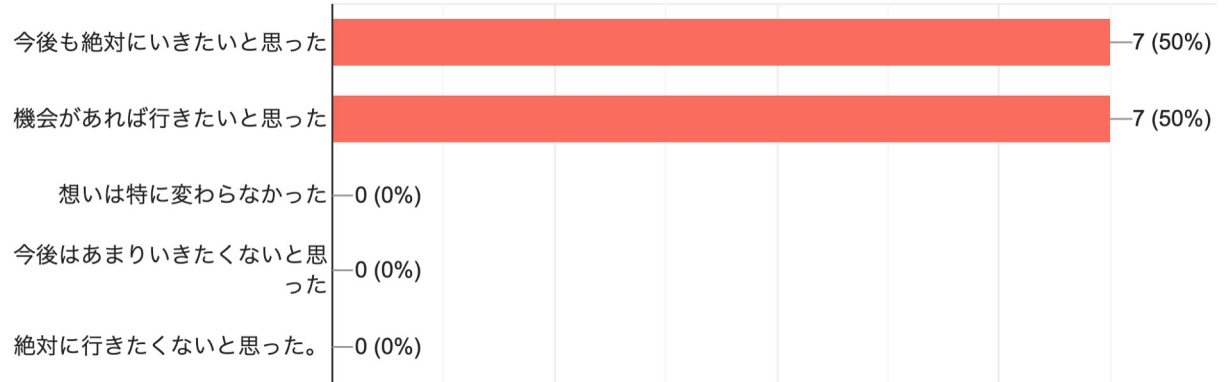
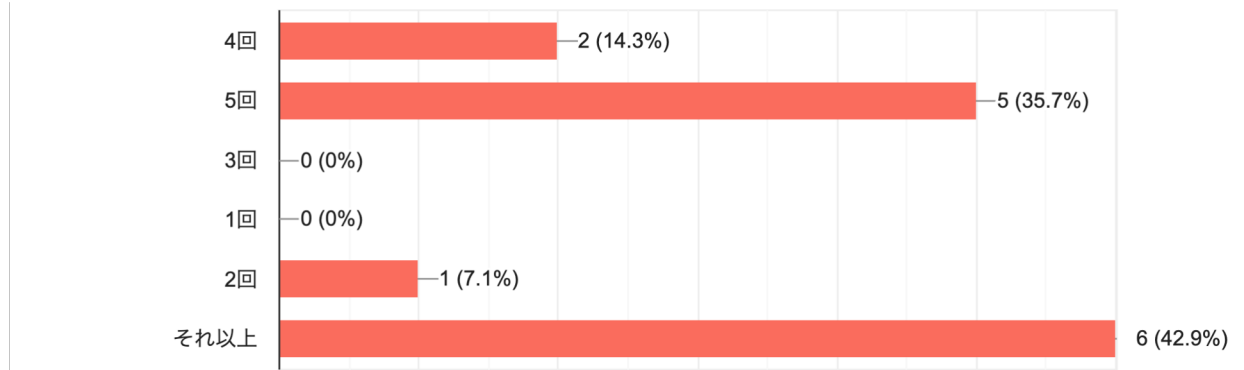
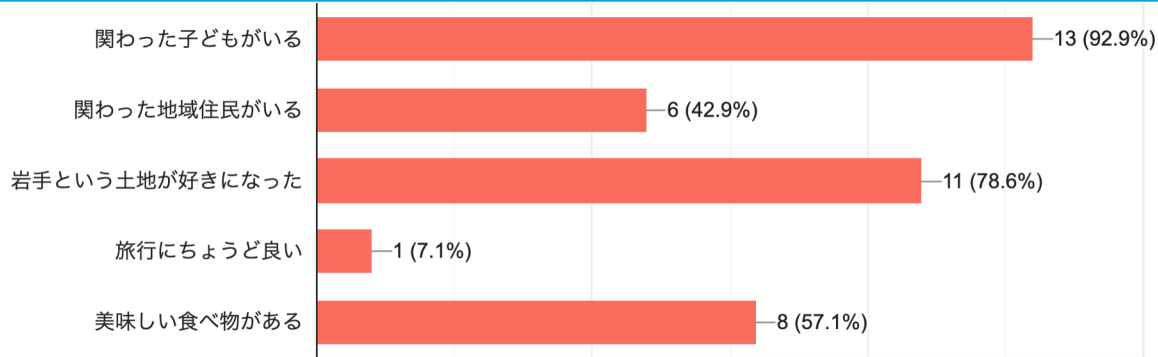
Q.地域を訪れる理由
 関わった子どもや
 地域住民がいる



Q.訪れた回数
 5回以上が4割
 ※1年に最低2回訪れる

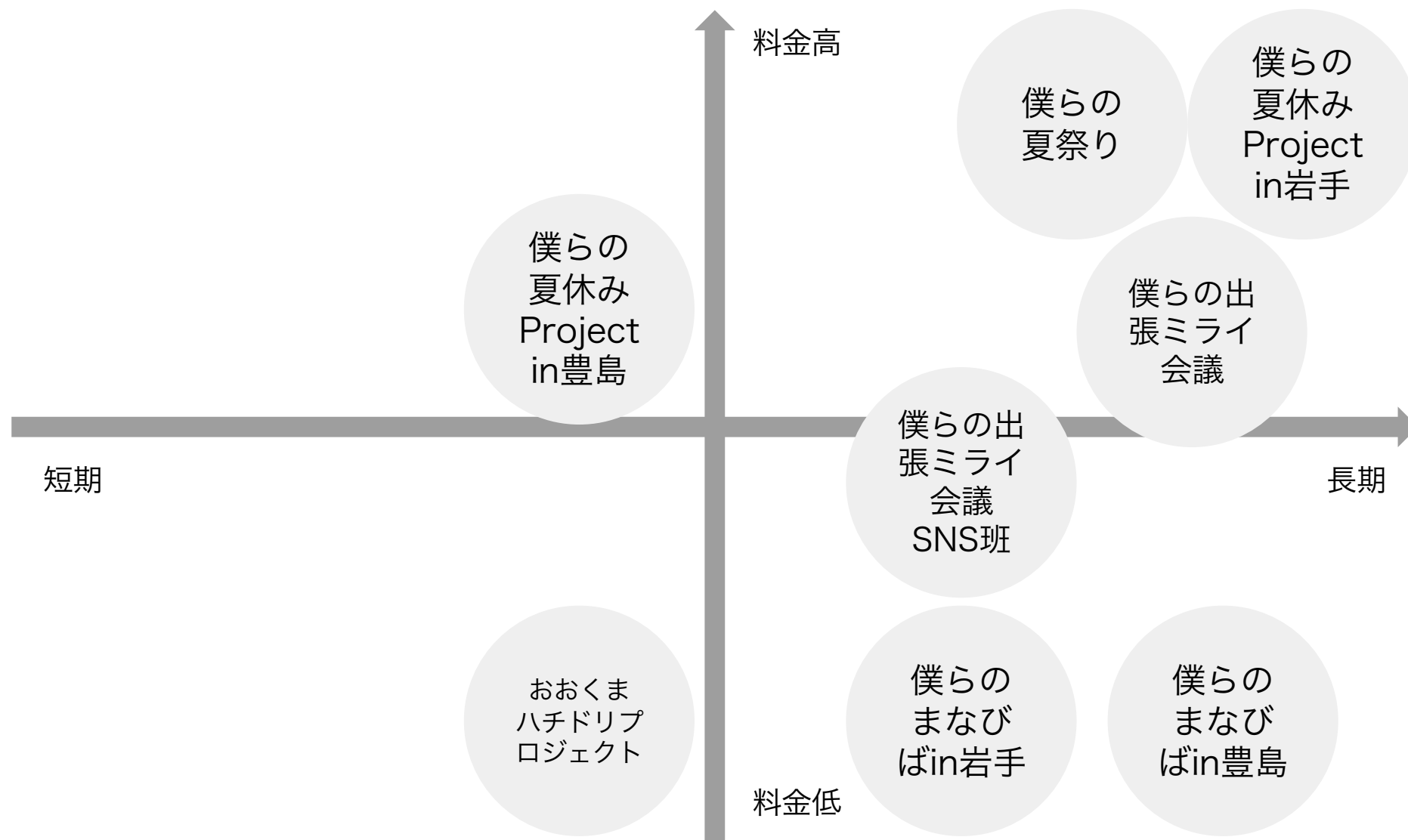


Q.卒業後も訪れたい
 今後も絶対行きたい
 機会があれば行きたい



出典：ことばの大学生4年生に聞きました。

大学生ボランティアに提供している事業



ことばのこれまで

一般社団法人ことば | 活動の沿革

- 2011年
 - ・東日本大震災が発生
 - ・設立者 **佐藤シュンスケ**が知り合いの大学生と共に「僕らの夏休みProject」を発足
 - ・友人を通じて**巖岩千裕**（顧問）と出会い、沿岸小学校を10校以上訪問
 - ・宮古市立赤前小学校にて**約25名の大学生**で第1回「僕らの夏休みProject」を開催
 - ・赤前小学校にて第1回「**僕らの夏祭り**」を開催
- 2012年
 - ・参加大学生が**約60名**に増加
- 2013年
 - ・交流先が**4校**に拡大
 - ・書籍「**僕らの大きな夢の絵本**」出版
 - ・1年目から行なっていた地域での**夏祭りを現地実行委員会主体**へ
 - ・**キッズデザイン賞受賞**
- 2014年
 - ・交流先が**11校**に拡大（山田町進出）
- 2015年
 - ・交流先が**15校**に拡大（釜石市進出）
- 2016年
 - ・交流先が**18校**に拡大（山田町全校開催）
 - ・活動の継続と拡大のために**一般社団法人化**
- 2017年
 - ・交流先が**22校**に拡大（岩泉町進出）
 - ・夏祭り会場を**4箇所**に拡大（田老・赤前・大沢・大槌）
 - ・東京キワニスクラブ青少年教育賞 **最優秀賞**
 - ・第2回学生団体総選挙 食・農業・地域活性**部門グランプリ**
 - ・第3回学生団体総選挙 **総合グランプリ**
- 2018年
 - ・交流先**29校**拡大
 - ・夏祭り会場を**5箇所**に拡大（腹帯）
 - ・第4回学生団体総選挙 **部門準グランプリ**
 - ・第12回マイコミュニティフォーラムin東京 **最優秀賞・会場特別賞**



一般社団法人ことば | 活動の沿革

- 2019年
 - ・夏祭り会場を**6箇所**に拡大（七滝公園）
 - ・学生リーダー向け合宿を行う

- 2020年
 - ・**Youtubeチャンネル「ことばのじかん。」**を開始
 - ・僕らの夏休みProject **オンライン特別企画**を開催
 - ・僕らの夏祭り オンライン特別企画を実施
 - ・僕らの出張！ミライ会議 公式Instagram、Youtube投稿を開始
 - ・イベント「僕らの出張！ミライ会議」をオンライン、オフライン合わせて5回開催

- 2021年
 - ・大学支部制度の廃止
 - ・僕らの夏休みProject「オンライン交流」を実施
 - ・**岩手県立大学 宮古短期大学部**の学生参加
 - ・豊島区で放課後学習支援「チューター」を実施
 - ・外国ルーツの子どもを対象に「僕らのまなびば」を実施
 - ・東京都在住外国人支援事業助成金を獲得
 - ・**住友商事教育支援プロボノ**プロジェクトを助成

- 2022年
 - ・公益財団法人日本非営利評価センター「**グッドガバナンス認証**」を取得
 - ・本州最東端のまちみやこ「**PR隊**」認定
 - ・**岩手県宮古市**より「**感謝状**」の贈呈



グッドガバナンス認証



クラウドファンディングを活用した企画

#岩手県 #宮城県 #東京都 #社会にいいこと #子ども・教育 #マイノリティ #地震 #東日本大震災 #被災地

第4弾！ 僕らの夏休みProject～全ては子どもたちの笑顔のために～

足立社太郎



支援総額 **535,000円** 目標金額 500,000円

支援者 募集終了日
59人 2016年8月5日

プロジェクトは成立しました！

終了報告を読む

東京まで行かずとも、大学生と密に話せる？！次世代型の進路相談イベントを開きたい！

kotoba2016 ソーシャルグッド



現在の支援総額 **489,000円**

113% 目標金額は430,000円

支援者数 **70人**

募集終了まで残り **終了**

色んな大学の大学生を派遣しちゃう
『本音で話せて、自分で掴める』
次世代型の進路相談イベントを開きたい！

首都圏の大学生
岩手県の高校生

オープンキャンパスに行きたいけど東京まではお金も時間もかかる。というか、そもそも自分が本当にこの進路でいいのかも分からない！先生

6回のクラウドファンディング実施

- ①第1弾 僕らの夏休みProject
- ②第2弾 僕らの夏休みProject
- ③第3弾 僕らの夏休みProject
- ④第4弾 僕らの夏休みProject
- ⑤第1弾 僕らの出張ミライ会議
- ⑥第2弾 僕らの出張ミライ会議

単発寄付者獲得に向けて

応援者数：374名（累計）

応募期間：1ヶ月～2ヶ月程度

利用ツール：ReadyFor、CAMPFIRE、Syncable

声かけ人数：2,000名程度

特徴：社会人事務局で実施せずに学生が中心になぜ寄付が必要なのか。から言語化して資金調達に取り組んできた。

クラウドファンディングを活用した企画

【10周年】 僕らの夏休みProjectのこれからを支える「マンスリーサポーター」150人募集！

寄付先：一般社団法人 ことば



マンスリーサポーター募集

① 【10周年】 僕らの夏休みProject

56名がサポーター 就任

② 【11年目突入】 僕らの夏休みProject

プラスで20名以上がサポーター 就任

継続寄付者獲得に向けて

寄付者数：79人（毎月寄付）

寄付金額：85,000/月→1,020,000円/年

利用ツール：Syncable

寄付者属性：社会人95% 学生5%

特徴：年度報告書の送付だけでなく、日々の進捗情報を写真や動画を活用して継続寄付者の方々に共有しています。

企業/団体との協働事例

一般社団法人ことば | 企業/団体との協働事例

▼協働事業事例

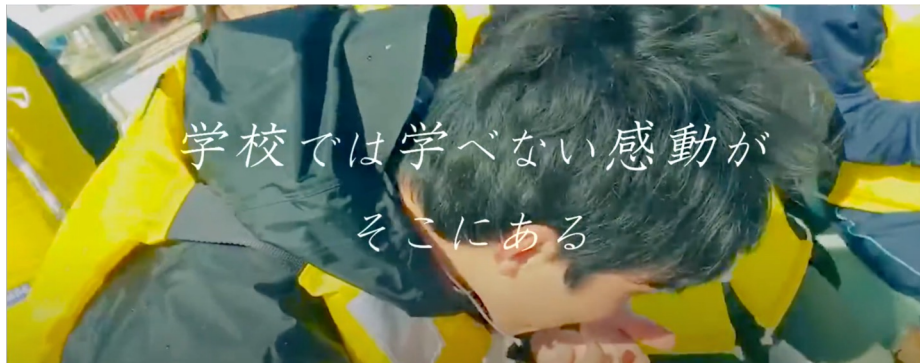
- 2016年度 株式会社パソナ東北創生（スタディーツアー）
- 2017年度 株式会社明光ネットワークジャパン（キャンプ）
- 2017年度 株式会社東京個別指導学院（研修ノート制作）
- 2018年度 株式会社パナソニック（イベント）
- 2020年度 株式会社類設計室（イベント/研修/インターン等）
株式会社Oriai（おおくまハチドリプロジェクト）
- 2021年度 株式会社類設計室（イベント/研修/インターン等）



全国から集まった大学生 56 人が、本気でおおくまの未来を考えました。



株式会社パソナ東北創生とのスタディーツアー実施



多様な視点から東北について学ぶ

- ①大学生ボランティアに現地の学びを提供
- ②現地の語り部から東日本大震災を聞く
- ③町の産業を体験し今後の活動に生かす

概要

- 対象：僕らの夏休みProject参加学生＋友人
参加：89名
参加費：30,000円（交通費、食費、宿泊費すべて込み）
場所：岩手県（大船渡町、陸前高田市）
期間：2泊3日



株式会社明光ネットワークジャパンとのサマーキャンプ実施



他教室との差別化を図りたい

- ①お兄ちゃんお姉ちゃんと交流対話で夢を膨らませる。
- ②真新しい遊びや学びで好奇心を刺激し興味を広げる。
- ③異世代交流でコミュニケーション能力を向上させる。

概要

対象：明光キッズ児童（民間学童クラブ）

参加：147人

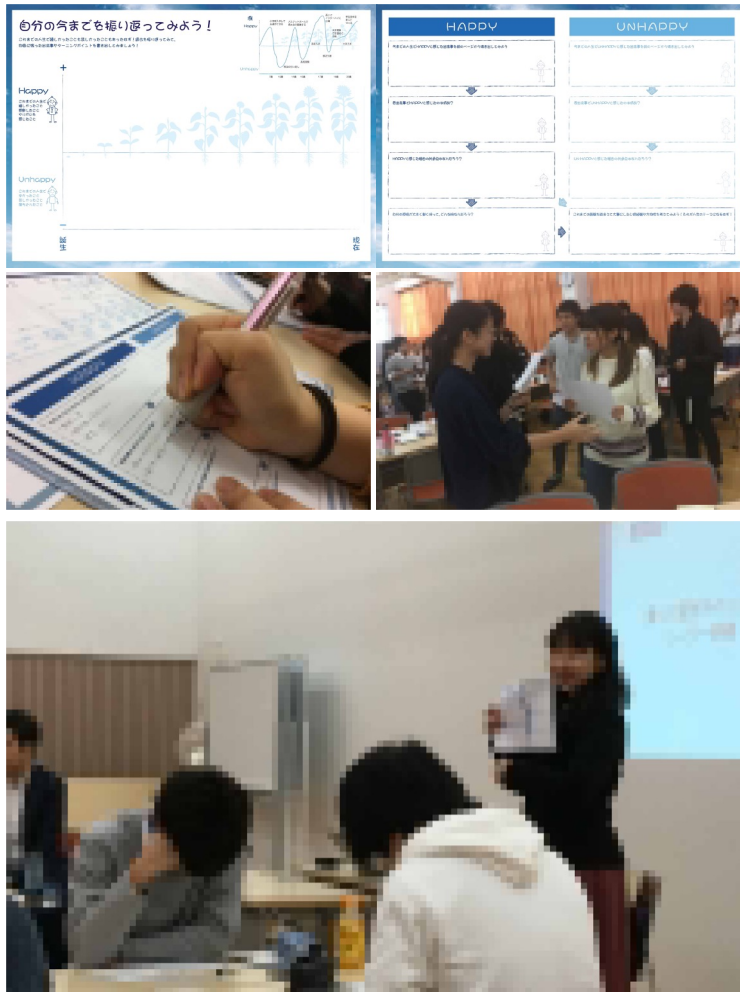
期間：2泊3日

内容：筏作り、謎解きトレジャーハンティング

カブトムシ採集、樹海探検、キャンプファイヤー



株式会社東京個別指導学院との研修ノート制作&研修実施



大学生との育成/採用

- ①夢応援ノートの制作
- ②夢応援ノートの普及、活用、促進等
- ③大学生ボランティアとの継続的な関係構築
- ④人材育成+アルバイト、採用募集

概要

対象：ボランティア大学生 リーダー

参加：30名

頻度：2回

内容：自己分析、自己開示

チームビルディング、その他相談

担当：人材開発部、人事部、ブランド戦略

株式会社パナソニック オリパラ復興500日前イベント



子どもたちとの交流/アイスブレイク

- ①被災地の復興・オリンピックの成功
- ②オリジナルモニュメントを制作
- ③ビデオ会議システムの活用

概要

- 対象：ボランティア参加学生
地域：福島県、東京都江東区
後援：復興庁、福島県、江東区教育委員会
内容：アイスブレイク、地域の魅力発信
モニュメント制作、報告会

公益財団法人みんなの夢をかなえる会

みんなの夢AWARD

NIPPON IT Charity EKIDEN



みんなの夢AWARD

- ①学生への地方創生×ビジネスセミナー
- ②ノベルティ制作
- ③学生への宣伝広告/PR
- ④シンポジウム「東日本大震災」

概要

対象：ボランティア大学生

参加：200名

内容：広報宣伝（Tシャツ、HP等）

研修実施「地方創生」

夢AWARD9

株式会社類設計室 イベント企画



みんなええやんプロジェクト

- ①ボランティア大学生×新入社員研修
- ②子ども達のために両方で協力して実践
- ③子どもたちに達成感を感じてもらい自己肯定感や自信につなげる。

概要

対象：ボランティア大学生

参加：8名（小学生・中学生）

内容：秘密基地作り

サンドイッチ作成

レクリエーション（クイズ等）

株式会社類設計室 研修連携



人材育成/採用募集

- ①大学生ボランティアのキャリア支援
- ②大学生ボランティアのインターン
- ③大学生ボランティアの採用
- ④新入社員の研修

概要

対象：ボランティア大学生、リーダー
参加：30名×6回数
内容：自己分析
自己開示
チームビルディング
キャリア支援/相談

総務省 ふるさとワーキングホリデー



人生の地図を広げよう。 山口県でふるさとワーホリ体験

学生事務局

- ①ワカモノメンバー
- ②PRムービー撮影
- ③ワーホリ体験
- ④ワーホリ体験談/インタビュー

概要

対象：ボランティア大学生
参加：3名
地域：愛知県蒲郡市
山口県宇部市
農業、旅館業の体験

株式会社Oriai おおくまハチドリプロジェクト



全国から集まった大学生 56 人が、本気でおおくまの未来を考えました。



大熊町に提案

- ①震災復興や地域活性
- ②学生の発掘と募集
- ③大熊町の町役場職員の方との対話・交流
- ④大熊町の現地調査・取材、企画提案

概要

対象：ボランティア大学生

参加：5名

地域：福島県大熊町

内容：被災地見学

地域住民からの語り部

ブラッシュアップセミナー

プレゼンテーション

【問い合わせ窓口】

所在地 : 〒111-0034
東京都台東区東区雷門2-13-1KAMINARI2F

役員 : 6名

事務局 : 7名

MAIL : s.sato@kotoba.life

ホームページ : <https://www.kotoba.life>

担当 : 代表理事 佐藤 シュンスケ

